

●指導のポイント

【学校教育目標】

豊かな人間性と 将来をたくましく生きぬく児童の育成

【上殿小学校でつきたい資質・能力】

課題解決力：課題を見つけ、解決する手段や方法を考える。

協 調 性：共通点や相違点を明らかにして自分の考えを話し、仲間と前向きに解決する。

人としての思いやり：相手のことを思いやり、人の痛みを理解する。

【研究主題】

かかわり 認め合う つながる 道徳科の授業づくり
～対話によって考えを深める発問の工夫を通して～

【研究の概要】

学習指導要領改定に伴った道徳の特別の教科化により、「主体的・対話的で深い学び」を授業改善の視点とした道徳科の授業の質的転換が求められている。そこで本校は本年度の研究主題を「かかわり 認め合う つながる 道徳科の授業づくり～対話によって考えを深める発問の工夫を通して～」と設定した。

「かかわり」とは、課題を自分自身の課題と捉え、教材とのかかわりをもつこと、そして、課題を解決するために話し合ったり相手の考えを聞いたり認めたりして、友達とかかわっていくことである。

「認め合う」とは、互いの考えの共通点や相違点を尊重し認め合うことである。話し合う中で、考えが十分でないところに気づき、より良い考えに至るために素直に受け入れることが必要である。

「つながる」とは、友達に対して、相手を思いやり、人間関係づくり・仲間づくりをすること、保護者や地域に対して、感謝と尊敬の気持ちを持って共に活動すること、中学校への進学に向けて、将来への展望を持つことである。

かかわり 認め合う つながる道徳的な判断力、心情を育成するために、今年度は、考えを深めるための対話の場を工夫し、自分の生き方についての考えを深め、物事を多面的・多角的に見ることが出来る授業づくりをしたいと考えた。

【検証の軸】

カリキュラム・マネジメントの視点を取り入れ、各教科や学校行事と道徳科を関連させることで、児童は、多面的・多角的に道徳的価値について考えることができる。

